

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

<週報> 第21週 (平成18年5月22日～5月28日)

発行日：平成18年5月31日

発行：福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎256名(11.64名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎56名(2.55名) 咽頭結膜熱51名(2.32名) 水痘40名(1.82名) 手足口病19名(0.86名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(256名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(56名) 咽頭結膜熱(51名) 水痘(40名) 手足口病(19名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は256名です。定点当たり患者報告数は減少しました(13.05名 11.64名)。地域別にみると福井地区21.29名、坂井地区10.33名、丹南地区9.4名、二州地区6.67名、奥越地区4.0名、若狭地区0.5名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は56名です。定点当たり患者報告数は減少しました(3.05名 2.55名)。地域別にみると奥越地区6.0名、二州地区4.67名、丹南地区3.8名、坂井地区1.0名、若狭地区1.0名、福井地区0.86名の順となっています。
5. 【咽頭結膜熱】報告数は51名です。定点当たりの報告数は増加しました(1.73名 2.32名)。地域別にみると二州地区4.0名、丹南地区3.2名、坂井地区2.0名、福井地区1.57名、若狭地区1.5名、奥越地区1.5名の順となっています。
6. 【水痘】報告数は40名です。定点当たりの患者報告数は減少しました(2.32名 1.82名)。地域別にみると丹南地区2.6名、福井地区2.57名、奥越地区2.0名、二州地区1.67名の順となっています。

感染症週報全国版の要点

2006年第19週号(5月8日～5月14日)要点

発生動向総覧	<第19週> 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<麻しん> 感染症発生動向調査における第19週の小児科定点からの報告は15例、基幹定点からの成人麻しんの報告は1例であった
病原体情報	インフルエンザウイルス2005/06シーズン / エンテロウイルス71型 & コクサッキーウイルスA16型2006年 / 流行性角結膜炎患者から検出されているアデノウイルス2006年 / 感染性胃腸炎関連ウイルス2005/06シーズン
速報	腸管出血性大腸菌感染症2005年(2006年3月31日時点) / 2005/06シーズン後半におけるB型インフルエンザの集団発生 - 山口県 / B型インフルエンザウイルスにおける中学校における集団発生 - 埼玉県 / 2006年4～5月におけるB型インフルエンザの地域流行 - 横浜市
海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況 / ジブチでの鳥インフルエンザ流行状況 / アンゴラでのコレラ流行 / スーダン南部でのコレラ流行
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	女兒1名	
主な症状	腹痛、下痢、血便	
感染原因・感染経路	調査中	
平成18年	福井県	有症者1人、無症者0人(5月22日現在)
	全国	232人(5月7日現在)
平成17年同時期届出累計	有症者5人、無症者3人、全国累計260人	

1類感染症:報告はありませんでした。

2類感染症:報告はありませんでした。

4類感染症:報告はありませんでした。

5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成18年 第21週 平成18年5月22日(月)~平成18年5月28日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(20週)
小児科 (22)	インフルエンザ (32) (高病原性鳥インフルエンザを除く)					13 4.33		13 0.41	8 0.25	3830 0.87
	RSウイルス感染症						6 1.2	6 0.27	4 0.18	121 0.04
	咽頭結膜熱	11 1.57	6 2.00	12 4.00	3 1.5	3 1.5	16 3.2	51 2.32	38 1.73	2020 0.67
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	6 0.86	3 1.00	14 4.67	2 1	12 6	19 3.8	56 2.55	67 3.05	7604 2.53
	感染性胃腸炎	149 21.29	31 10.33	20 6.67	1 0.5	8 4	47 9.4	256 11.64	287 13.05	17687 5.88
	水痘	18 2.57		5 1.67		4 2	13 2.6	40 1.82	51 2.32	7093 2.36
	手足口病	3 0.43		2 0.67	8 4		6 1.2	19 0.86	12 0.55	1052 0.35
	伝染性紅斑						2 0.4	2 0.09	5 0.23	1815 0.60
	突発性発しん	1 0.14	1 0.33	1 0.33		1 0.5	3 0.6	7 0.32	17 0.77	2127 0.71
	百日咳									31 0.01
	風しん									12 0.0
	ヘルパンギーナ	3 0.43	1 0.33				14 2.8	18 0.82	5 0.23	1613 0.54
	麻しん(成人麻しんを除く)									23 0.0
流行性耳下腺炎	1 0.14		3 1.00	1 0.5		2 0.4	7 0.32	6 0.27	5054 1.68	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									26 0.04
	流行性角結膜炎	1 0.50					1 1	2 0.67	4 1.33	657 1.05
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									4 0.01
	無菌性髄膜炎									11 0.03
	マイコプラズマ肺炎								2 0.33	171 0.39
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									4 0.01
	成人麻しん									3 0.0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。